

関門航路 [大瀬戸～六連地区 (西山沖)] 浚渫工事等のお知らせ

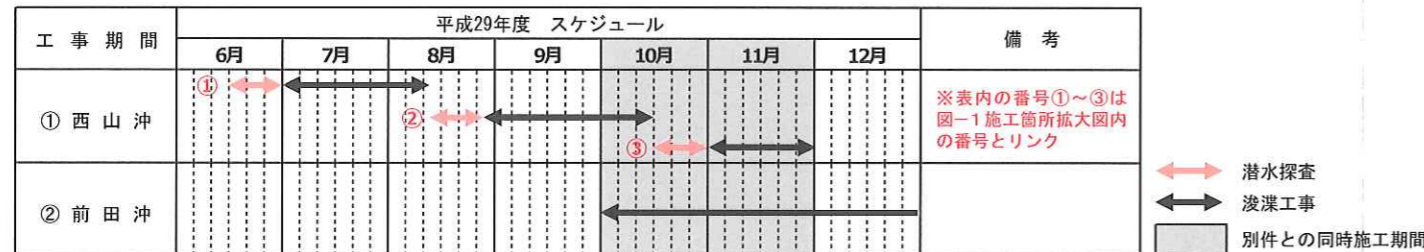
次のとおり、関門航路 [西山沖] の潜水探査及び浚渫工事を実施しますので、付近を航行する船舶は十分ご注意ください。

九州地方整備局 関門航路事務所 TEL 093-512-8098
建設管理班 FAX 093-512-8106
本資料は、下記のホームページでもダウンロードできます。
<http://www.pa.qsr.mlit.go.jp/kanmon/>

1. 作業期間

地区名 (工区名)	種別	作業船種	最大隻数	期間予定	作業時間	対策
西山沖	潜水探査	潜水土船	16隻	平成29年6月中旬～平成29年10月下旬	午前8時～日没	警戒船4隻(最大) 広報船2隻
	グラブ浚渫	スパッド式グラブ浚渫船	3隻	平成29年7月上旬～平成29年11月下旬		警戒船4隻(最大) 広報船2隻 土運船6隻(最大)

※原則として、土曜、日曜、祭日は作業しませんが、工事の進捗状況によっては行うことがあります。
※作業の期間予定は一部重なっていますが、潜水探査とグラブ浚渫の同時作業は行いません。
※作業の期間予定は、各作業の実施状況により変わる場合があります。作業の実施状況は「6.作業情報」にてお問い合わせ下さい。



2. 作業の場所

関門航路 [大瀬戸～六連地区 (西山沖)]潜水探査、グラブ浚渫の各作業区域は図-1に示す通りとします。

3. 作業概要

- 3-1 共通事項
1) 本工事に使用する作業船には当該工事に従事している船舶であることを一般船舶に明示するため、作業旗を掲げます。
- 3-2 潜水探査(図-2参照)
1) 潜水土船(最大時16隻)から各々潜水士が1名入り、簡易磁気探査機を使用して探査区域内を移動しながら作業します。
- 3-3 浚渫工事(図-3参照)
1) スパッド式グラブ浚渫船(最大3隻)により浚渫し、土砂を土運船(最大6隻)により、下関人工島へ運搬します。
2) スパッド式グラブ浚渫船は、夜間及び作業を行わない日は航路外の作業船待機場所区域(図-1参照)に待機します。

4. 安全対策

- 4-1 共通事項(図-1、2、3参照)
1) 潜水探査および浚渫作業の際は、周囲に警戒の標識(緑、黄、緑の吹き流し)を掲げた警戒船を配備します。
2) 潜水探査および浚渫作業の際は、警戒船とは別に電光表示板を装備した広報船を配備します。
- 4-2 潜水探査
1) 潜水土船には国際信号旗(A旗板)を掲げ、潜水作業中であることを航行船舶に明示します。また、作業区域の四隅を俵ブイで明示します。
- 4-3 浚渫工事
1) スパッド式グラブ浚渫船には、海上衝突予防法の規定による灯火又は形象物を掲げます。

5. 航行船舶へのお願い

- 5-1 共通事項
1) 作業現場付近を航行する場合は、操船に影響のない範囲で速力を減速すると共に、出来る限り作業船団から離れて航行して頂きますようお願いいたします。
2) 本工事作業中は、広報船を配置していますので、その存在を確認した際は、作業を行っていることを認識してください。(図-1参照)
3) 関門航路を航行する場合は、国際VHFを活用するとともに、特に16chを常時聴取いただきますようお願いいたします。
4) AIS搭載船にあたっては、AISの正しい運用をお願いいたします。
5) 作業中の可航幅及び船舶航行経路については、図-4の通りになりますので、ご協力をお願いします。
- 5-2 作業船の退避について
作業船(スパッド式グラブ浚渫船、潜水土船)は、以下に示す大型船(目安:全長200m以上)が入出航する場合は、対象船が通過する30分前までに下関側関門航路外、又は工区内の適宜の場所へ退避します。
※退避対象船から作業区域付近通過予定時刻の2時間前までに「関門航路支援業務室」まで連絡をお願いします。また、通過の30分前に再度、確認の連絡を行うようお願いいたします。
【退避対象船舶】
I. 部埼経由で戸畑航路に入航する大型船及び要請があった大型西航船
II. 西山地区に入出港する大型船
III. 六連経由で戸畑航路に入出航する大型船

6. 作業情報について

本工事に関するお問い合わせ先を以下に記載します。問い合わせにあたっては内容を正確に把握するため、可能な限り日本語でお願いします。

<関門航路支援業務室>

作業情報、運航調整に関する問い合わせ先

TEL: 093-752-1660

E-mail: kanmonanzen@sweet.ocn.ne.jp

FAX: 093-752-1661

HP: <http://www.seikaibo.ecweb.jp/kanmon/>

